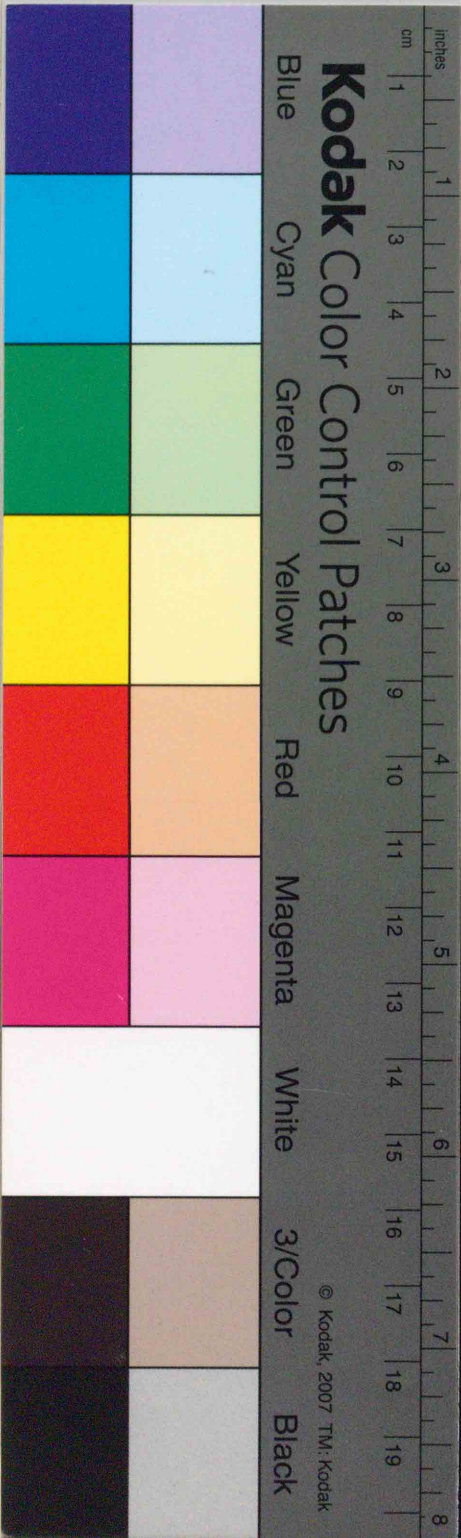


41011

教科書文庫

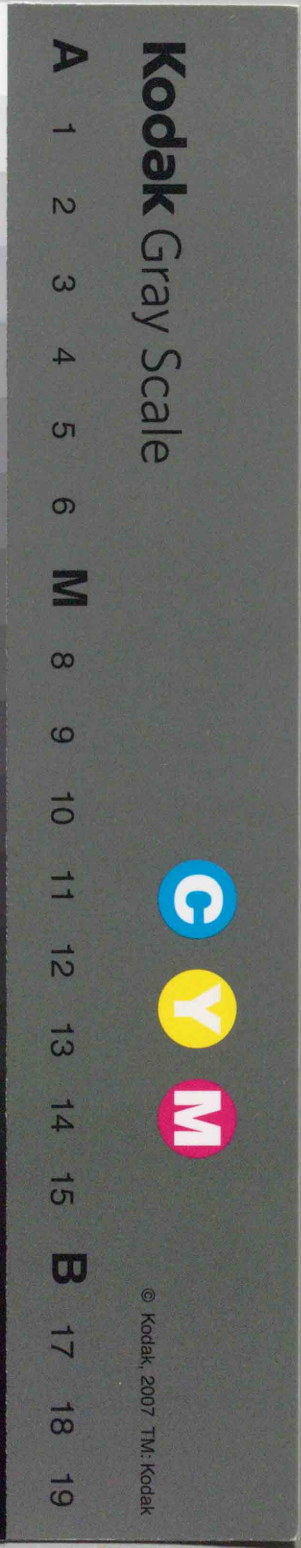
4
760
41-1932
01304 49430



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



昭和
中等音樂教科書
卷之一

中央図書館

昭和
中等音楽教科書
一巻

広島大学図書

0130449430



昭和七年一月十一日

文部省検定済

中等校音楽科用

昭和
中等音楽教科書

永井幸次
田中銀之助
共編

卷之一

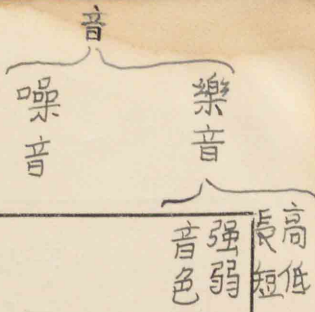


大阪音楽学校楽友會
出版部藏版

本書を學習する生徒諸子に

時の古今を問はず土地の東西を論せず凡そ人類のある處には必ず音樂が存在する。即ち人生と音樂之れは常に對立して決して離す事の出来ない關係を持つて居る。さうして人は常に此の音樂を樂しみ心を清らかにし其生活をうるほして居るのであり又之れによつて高尚な感情が養はれ品性^{ひしがら}が向上しつゝあるのである。諸子が始めて中等學校に入學し小學校と同じ様に唱歌を學習するのもつまり人としての幸福を進めんがためであり又人として當然の修養を積まんがためである。

さて茲に注意を要する事は一口に音樂というても世には甚だよろしくない音樂があり又常に此の種の音樂を樂しむ人もある。かやうな人は必ず品性が墮落して生涯を不幸に陥らしめるのである。學校の唱歌は諸子を善い人間に仕立てるために努めて是等不良の音樂から遠ざからしめ善良な趣味に導くのであるから教育上修身科と同じ様に必要なものである事を忘れてはならぬ。



昭 和
 中等音樂教科書
 卷 之 一
 目 次

目次

第一學期

(一) 音樂	一
(二) 音名	一
(三) 階名	一
(四) 音符	二
(五) 休止符	三
(六) 譜表	四
(七) 音部記號	五
(八) 高音部譜表	五
(九) 低音部譜表	五
(一〇) 大譜表	六
(一一) 拍子	六
(一二) 口形圖	八
(一三) 發聲練習	九
(一四) 發想標語并發想記號(其の一)	九
(一五) 延長記號	一〇
(一六) 長音階	一〇

(一七) 音階練習(其の一).....	一〇
(一八) 結合線.....	一一
(一九) 音階練習(其の二).....	一二
(二〇) 音程.....	一三
(二一) 音程練習(二度音程).....	一三
國 旗.....	一四
(二二) 小節.....	一四
春 の 歌.....	一六
吾等の誇り.....	一八
(二三) 發想標語并=發想記號(其の二).....	一九
(二四) 連結線.....	一九
(二五) 音階練習(其の三).....	二〇
春 の 夜.....	二〇
(二六) 發想標語并=發想記號(其の三).....	二一
水 泳.....	二二
登 山.....	二四
休みは來る.....	二六
(二七) 發想標語并=發想記號(其の四).....	二六
第二學期	
(二八) 三度音程.....	二八
(二九) 音程練習(三度音程).....	二九

(三〇) 臨時記號(其の一).....	三〇
(三一) 豫備練習.....	三〇
夕 映.....	三〇
(三二) 反復記號省略記號.....	三一
(三三) 轉調.....	三一
(三四) ♮調長音階圖解.....	三二
(三五) ♮調長音階說明.....	三三
(三六) 調子記號.....	三三
(三七) ♮長調讀譜練習.....	三三
植物採集.....	三四
美はしき日の本.....	三六
朝 の 歌.....	三八
(三八) 臨時記號(其の二).....	四〇
クラス會.....	四〇
(三九) 轉調.....	四一
(四〇) ♯調長音階圖解.....	四二
(四一) ♯調長音階說明.....	四三
(四二) 調子記號.....	四三
(四三) ♯長調讀譜練習.....	四三
(四四) 圓點・垂點.....	四四
豊 年.....	四四

猛 進.....	四六
ス キ ー.....	四八
第三學期	
親 友.....	五〇
(四五) 二調長音階圖解.....	五二
(四六) 二調長音階說明.....	五三
(四七) 問題.....	五三
(四八) 二長調讀譜練習.....	五三
尊 き 國.....	五四
老たる農夫.....	五六
(四九) 八分の六拍子豫備練習.....	五八
母 の 惠.....	五八
應 援 歌.....	六〇
鎌 倉 山.....	六二
【附 録】	
Twinkle Twinkle, Little Star.....	六四
Lightle Row.....	六五
Labor song.....	六六
God save the king.....	六七
樂典總括.....	六八

(一) 音 樂

高き或は低き・長き或は短き種々の音を適宜な方法によつて組合せ、それに強弱を附けたりして人々の思考感情を表はした音の流れを音楽といふ。

(二) 音 名

音楽に用ふる音は其數が甚だ多いが、つまり七つの異なつた音の一例が上に又は下に反復せられたものである。それ等の七音はイロハ歌の首句七文字を次の如く並べて音の名とする。これを音名といふ。

{	日本.....	ハニホヘトイロ
	英國.....	C D E F G A B <small>シー　ディー　イー　エフ　ジー　エー　ビー</small>
	獨逸.....	C D E F G A H <small>チエー　デー　ユー　エフ　ゲー　アー　ハー</small>

以上の音名は單に各音の名稱であつて音楽を歌ふときには又別の唱へ方がある。之れを階名といふ。

即ち

(三) 階 名

Do Re Mi Fa Sol La Si Do'
ド　　レ　　ミ　　ファ　　ソ　　ラ　　スイ　　ド

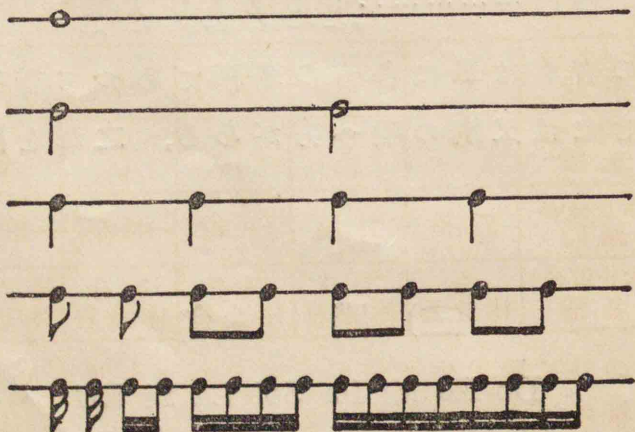
(四) 音 符

音の長短を表はす符號を音符といふ。普通用ふる音符には普通音符と附點音符とがある。其の形狀歷時名稱等を次に示す。

普通音符 (單純音符)

音符の 形狀	○	♩	♪	♫	♬
音符の 歷時	四拍	二拍	一拍	$\frac{1}{2}$ 拍	$\frac{1}{4}$ 拍
音符の 名稱	全音符	二分音符	四分音符	八分音符	十六分音符

上の表に於ける音符の歷時は四分音符を一拍とした場合を示す。以下附點音符並に休止符の場合も之れと同様である。



附點音符

音符の形狀	○	♩	♪	♫
音符の歷時	○+♩	♩+♩	♪+♩	♫+♩
	六拍	三拍	一拍と $\frac{1}{2}$	一拍の $\frac{3}{4}$
音符の名稱	附點全音符	附點二分音符	附點四分音符	附點八分音符

尙此の外に複附點音符と稱するものがあるが之を略す。

(五) 休 止 符 (默符)

聲音を默止する個所並に其歷時を示す符號を休止符といふ。其の形狀歷時名稱は次に示す。

休 止 符 (默符)

休止符の 形狀	—	—	♪	♩	♫
音符との 比較	○	♩	♪	♫	♬
休止符の 歷時	四拍	二拍	一拍	一拍の $\frac{1}{2}$	一拍の $\frac{1}{4}$
休止符の 名稱	全 休止符	二分 休止符	四分 休止符	八分 休止符	十六分 休止符

尙此の外に附點休止符があるけれども其の歷時は附點音符の場合と同様である

(六) 譜表

記されたる音符の位置によつて音の高低を知るに用ふるものを譜表といふ。譜表は五本の並行横線を基礎とし其の線及間を用ひ之れに第一線より第五線第一間より第四間の名稱を附ける。



以上の如く五線四間並に其の上下各々一間を用ゐるから譜表には十一の位置がある。尚ほ譜表の上又は下に加線といふ短線を引きて音符の位置を増設する事が出来る。其の位置の名稱は次に示す通りである。

加線



(七) 音部記號

譜表の首端には次の様な記號の何れかが必ず記される。之れを音部記號といふ。



高音部記號 (ト音記號)



低音部記號 (ヘ音記號)

尙此の外にハ音記號があるけれども普通には必要がないから之を略す。

此の音部記號によつて七音(ハニホヘトイロ)の位置が定まる。

(八) 高音部譜表

高音部記號の記されたる譜表を高音部譜表といふ。



(九) 低音部譜表

低音部記號の記されたる譜表を低音部譜表といふ。



(一〇) 大譜表

以上説明した高低兩譜表を重ね孤線と縦線とを以て次の圖の如く結合したものを大譜表といひ、混聲合唱或は有鍵樂器(オルガン・ピアノ)等の樂譜を記載するに用ひる。



(一一) 拍子

音の強弱を區別するために縦線を以て樂曲を等一なる拍數の小部分に分つ。此の小部分を小節といふ。



複縦線は樂曲の段落結尾又は調子拍子の變更等の場合に用ひる。縦線の右にある音符は常に強部であつて左のは弱部である。

其の強部弱部が規則正しく一定の時間に表はれるものを拍子といひ、一見して之を判明ならしめるために樂曲の始めに分數形の數字又はC或は

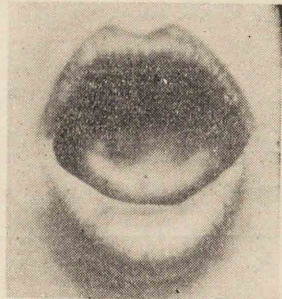
Cの記號を記す。之れを拍子記號といふ。

分數形の數字の中、其の分母に當る數字は一拍に數ふる音符の種類を表はし、分子の數字は一小節内の拍數を示す。たとへば $\frac{2}{4}$ 拍子の場合、其分母4は四分音符を一拍に數ふべき事を表はし、分子2は一小節を二拍到數ふべき事を表はす。普通用ふる拍子の種類を次に示す。

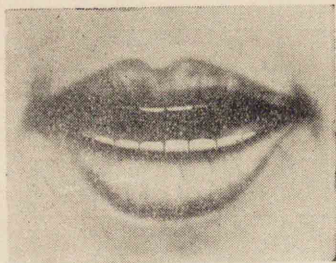
拍子の種類	拍子記號	拍子の強弱
二拍子	$\frac{2}{4}$	1 強 2 弱 p p
	$\frac{2}{2}$ 又ハ C	p p
四拍子	$\frac{4}{4}$	1 強 2 弱 3 中強 4 弱 p p p p
	又ハ C	p p p p
三拍子	$\frac{3}{4}$	1 強 2 弱 3 弱 p p p
	又ハ C	p p p
六拍子	$\frac{6}{4}$	1 強 2 弱 3 弱 4 中強 5 弱 6 弱 p p p p p p
	又ハ C	p p p p p p

(一二) 口形圖

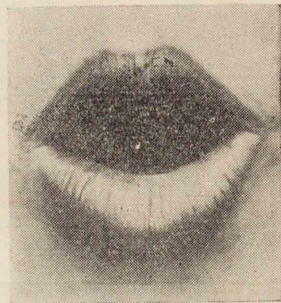
ア



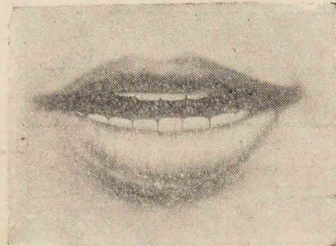
エ



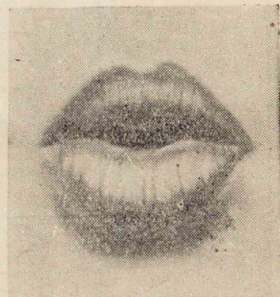
オ



イ



ウ



(一三) 發聲練習

Four musical staves illustrating vocal exercises. Each staff consists of a treble clef, a single note on a staff line, and a diamond-shaped graphic below it. Inside each diamond are the Japanese vowels: ア, エ, イ, オ, ウ. The first staff has a note on the first line (A4), the second on the second line (E4), the third on the third line (I4), and the fourth on the fourth line (U4). The diamond shapes are connected by lines, suggesting a sequence or range of motion.

發聲練習、發想標語并=發想記號

(一四) 發想標語并=發想記號 (其の一)

クレッシェンド
Crescendo 又は Cresc. 漸次に強く。

デクレッシェンド
Decrescendo 漸次に弱く。

ディミヌエンド
又は Diminuendo 又は Dim.

延長記號、長音階、音階練習

(一五) (Pause) 延長記號

音符或は休止符の固有の時間を其曲趣に應じて適宜に延長する。

(一六) 長音階

長音階は圖の如く五つの全音と二つの半音とよりなる。

Do'	半
Si	全
La	全
Sol	全
Fa	半
Mi	全
Re	全
Do	

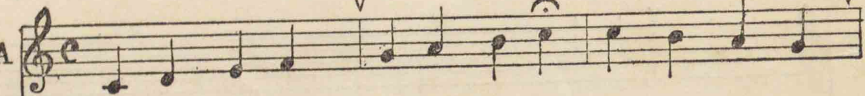
(一七) 長音階練習 (其の一)


長音階練習、結合線


(一八) ー或はー結合線 或は帶 (Tie)

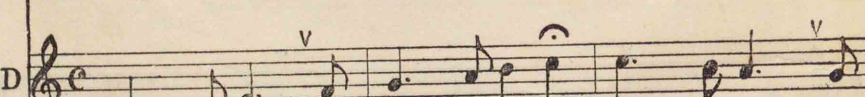
結合されたる兩音符の歷時を持続する。

(一九) 音階練習 (其の二)


A 


B 


C 

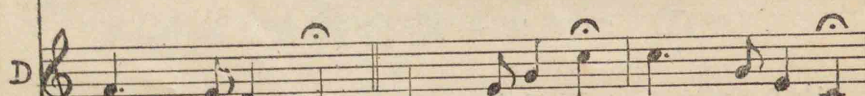
D 

三

A 

B 

C 

D 

(二〇) 音程

ある音より他の音に至る高低の距たりを音程といひ、其距たりの如何によつて種々の名稱がある。


二度音程

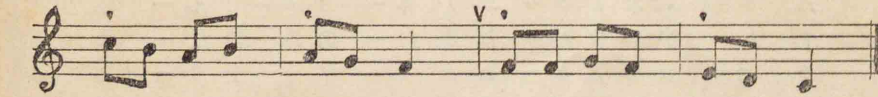
二度音程には長短の二種ありて、Do-Re. Re-Mi. Fa-Sol. Sol-La. La-Si.


の如き全音の距たりを長二度音程と云ひ、Mi-Fa. Si-Do. の如き半音の距たりを短二度音程といふ。


短二度	♯	Do'	(全)	長二度
		Si		
全	♮	La	(全)	長二度
		Sol		
短二度	♯	Fa	(全)	長二度
		Mi		
全	♮	Re	(全)	長二度
		Do		

(二一) 音程練習 (二度音程)

1 



2 



三



國 旗

Reichardt.

♩=104



1 ミーソラニナービクヒーノミーハター
 2 うみぢのひがしうみぢのに
 3 アーフゲヨアーフゲヒーノミーハター



ハミツホノクニノキヨキシルシ
 しかがやきわたるひのみはたよ
 チヨロツノクニニターゲヒーアラジ

(二二) 小 節

正格小節=強部より起る。
 變格小節=弱部より起る。

國 旗

一、	み空になびく	瑞穂の國の	日の御旗は
二、	海路のひがし	かがやき渡る	うみぢのにし
三、	あふげよあふげ	よろづの國に	日のみ旗を
			たぐひあらじ

山
口
重
松



春の歌

獨逸民謠



1 ハナ-サキ ニ-ホ-フ タノ-シキ ハル
 2 もも-じり う-た-ふ のぞ-みの はる
 3 モノ-ミナ ト-モ-ニ サカ-ユク ハル



アカ-シロ- ミド-リ ムラ-サキ- キイ-ロ
 たに-まに- かな-で みそ-らに- こな-へ
 ヒハ-ウラ- ラカ-ニ カゼ-アタ- タカ-ク




ノヤ-マラ カ-ザ-ル タノ-シキ ハル
 ひに-ひに す-す-む のぞ-みの はる
 アメ-ツチ ス-ベ-テ サカ-ユク ハル

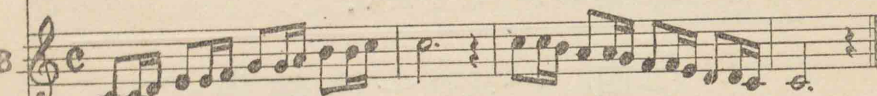
春の歌

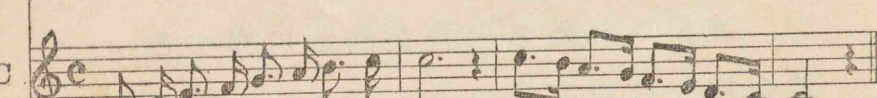
三	二	一
天地すべて	百鳥うたふ	花咲きにほふ
風は麗かに	谷間に奏て	紅白緑
日進む	御空に唱へ	紫黄色
ものみな共に		
榮行く春	希望の春	樂しき春
榮行く春	希望の春	樂しき春
		樂しき春

足立貞一

(二五) 音階練習 (其の三)

A 


B 

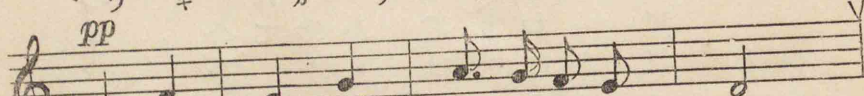
C 


音階練習、春の夜

春の夜

A. W. Williams.

$\text{♩} = 100$
p

 1 ハ ル カ ゼ ソ ヨ フ キ
 2 つ き か げ お ほ ろ に フ
 3 ツ キ カ ゲ タ ダ ヨ フ

pp

 オ ボ ロ ニ ツ キ イ デ テ
 つ ら が な る や ま や ま の
 ノ ガ ハ ノ セ セ ラ ギ ノ

mf

 コ テ フ モ エ へ ル カ
 か な た は い ー づ ー コ ゴ
 ユ ナ た は い ー ズ ー コ ゴ

二〇

mp


テ ノ ノ ホ ソ ミ チ
 お も ひ は ー り け し
 オ モ ヒ ハ ー ル ケ シ

三、 月か げ た ヲ よ ふ 野 川 の せ ゜ ら ぎ の
 行 方 は い づ こ ぞ 想 ひ は る け し

二、 月か げ お ぼ ろ に つ ら な る 山 々 の
 彼 方 は い づ こ ぞ 想 ひ は る け し

一、 春 風 そ よ ふ き お ぼ ろ に 月 出 て て
 胡 蝶 も 酔 へ る か 小 野 の 細 道

春 夜
 山 岡 利 生

春の夜、發想標語

(二六) 發想標語 并 = 發想記號 (其の三)

pp (Pianissimo) 最も弱く。
p (piano) 弱く。
mp (Mezzo piano) 中庸の弱さに。

二一

水
泳

水 泳

♩ = 116 K. Nagai.

1 テリソフ ヒーカニゲノ マチツノ アーツーサ
 2 ざんぶと びーびーこむ からだも かーろーく
 3 ミワタシ ハールーケキ ミヅヨリ ミーツーニ

5 5 5 6 5 4 3 2 3 2 2 6 5 5 4 3 2 3
 ミノモハ スーズーシク ナミサヘ シーヅカ
 しぶきは まーしーろく ちりては ひーかーる
 マカセテ コーコーロノ オモムク マーマーニ

2 2 5 5 3 3 6 6 1 7 6 1 7 6 5
 オヨゲヤ オヨゲヤ カヒナヲ フルヒ
 およげや およげや いさみに いさみ
 オヨゲヤ オヨケヤ カゼサヘ ソコグ

1 5 6 6 4 2 5 5 2 2 4 5 6 5 7 ノ
 ススメヤ ススメヤ チカラノ カギリ
 すすめや すすめや みづを は わけて
 ススメヤ ススメヤ ナミチーハ ヒロシ

二三

水
泳

水 泳

一、 照りそふ日かげの
 水面は涼しく
 泳げや
 かひなを
 進めや
 進めや

二、 ざんぶと飛びこむ
 飛沫はましろく
 泳げや
 勇みに
 進めや
 進めや

三、 見渡しはるけき
 まかせて心の
 泳げや
 風さへ
 進めや
 進めや

松 岸 寛 一
 眞夏の暑さ
 波さへしづか
 およげや
 ふるひ
 力のかぎり
 からだも軽く
 散りては光る
 およげや
 勇み
 水をばわけて
 水より水に
 おもむくまゝに
 およげや
 そよぐ
 浪路は廣し

二三



登山の歌

C. Tanaka.

♩=50-66



1 六 こん 清 淨 天 氣 モ 上 乗
2 六 こん 清 淨 天 氣 も 上 乗



ド ン ド ト ノ ボ レ ヤ マ サ カ セ ン リ
ご ん ご の ほ れ あ し な み か ろ く



ツ ー ツ ク オ ン タ ケ ク モ ツ ク ミ ネ モ
し ら く も き え て げ か い は ひ ろ い



ノ ボ レ バ ヒ ク イ ア シ ノ シ タ
み そ ら は は れ た き も は れ た

登山の歌

安 東 正 郎

一、 六根清淨

どんどと登れ

つゞく御嶽

登れば低い

天氣も上乘

山坂千里

雲つく峯も

足の下の

二、 六根清淨

どんどと登れ

白雲消えて

御空は晴れた

天氣も上乘

足なみ軽く

下界は廣い

氣も晴れた

休みは来る

獨逸民謠

休みは来る、發想記號

♩=100
mf

1 マチ マチ シ ヤ スミ チ カ ヅ ク ワ
2 ゆ び を れ は や す み は ま ち か わ

レ ラ ノ コ コ ロ ノ ト キ メ キ ヤ
れ ら の の ど み は あ ふ る る あ

マ ニ モ ノ ボ ラ ム カ ハ ニ モ ツ リ セ ム ス
の わ ざ し と げ む こ の み ち は げ ま む を

ズ シ キ カ ゼ ホ ホ ナ フ ク
ぶ る あ さ ひ か げ さ や か

二六

(二七) 發想標語并發想記號 (其の四)

> < ^ (Accent) 特に強く。

休みは来る

休みは来る

一、待ちまちし
吾等の山にも
涼しき風川にも
指折れば
吾等のあの業
躍る朝日この道

休みは来る
希望は
仕遂げむ
はげまむ
影さやか

休み近づく
ころのときめき
のぼらむ
つりせむ
頬を吹く

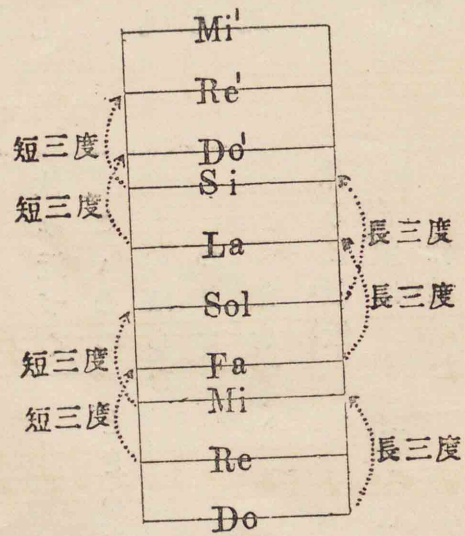
今
中
楓
溪

二、

二七

(二八) 三度音程

長三度 = 二全音。
短三度 = 全音半。



(二九) 音程練習

(三度音程)

(三四) ト調長音階圖解

Sol' $\dot{1}$	Do
Fa' $\dot{2}$	\sharp Si
Mi' $\dot{3}$	La
Re' $\dot{4}$	Sol
Do' $\dot{5}$	Fa
Si $\dot{6}$	Mi
La $\dot{7}$	Re
Sol $\dot{8}$	Do
Fa $\dot{9}$	(\sharp) Si ₁
Mi $\dot{10}$	La ₁
Re $\dot{11}$	Sol ₁
Do $\dot{12}$	Fa ₁

ハ長調

ト長調

(三五) ト調長音階說明

(三六) 調子記號 (ト長調)

(三七) ト長調讀譜練習

讀譜練習を終りたる後この譜に音名を記入せよ

植物採集

Beethoven.



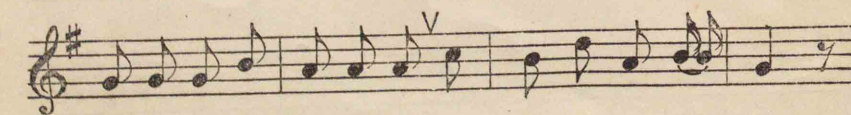
1 イ ザ イ ザ ト モ ド モ ヤ マ ニ ユ キ テル ヒ
 2 し こ ぐ さ し げ れ る か げ に お ふ る ち
 3 ツ ミ タ ル ク サ バ ナ シ ラ ベ ミ ヨ ヤ ド



ゴ ー ロ マ ナ ビ シ ク サ タ ツ マ ン ツ
 ひ さ き く さ は は こ け の る る ぞ を
 ク タ モ フ ク メ ル ク サ モ ア レ バ マ



ヅ ラ ノ ヤ マ ー チ タ ド リ ク レ バ ノ
 が は の な が れ の ほ ど り み れ は き
 タ ナ キ ク ス リ ノ モ ト モ ア ラ ン ミ



ヅ ラ シ ク サ キ ノ ソ コ ニ コ コー ニ
 よ け き み づ ベ に も の は な ひ ら く
 ナ ヨ キ ワ ガ ト モ マ ナ ビ ノ カ テ ゴ

植物採集

一、 いざいざともども

日頃學びし

つゞらの山路

珍らし草木の

山に行きて

草をつまん

たどり來れば

そこにこゝに

苦 瓜 惠 三 郎

二、 醜草茂れる

ちひさき草葉は

小川の流の

清けき水邊に

かげに生ふる

苔の類ぞ

ほとり見れば

藻の花ひらく

三、 摘みたる草花

毒をも含める

またなき薬の

皆よきわが友

研べみよや

草もあれば

原もあらん

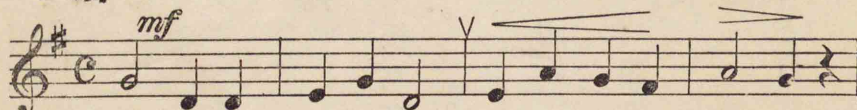
學びの糧ぞ



朝の歌

Emerson.

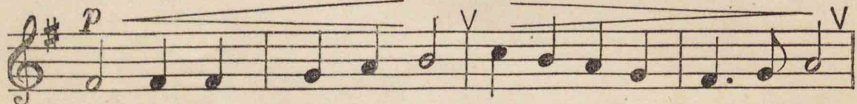
♩=104



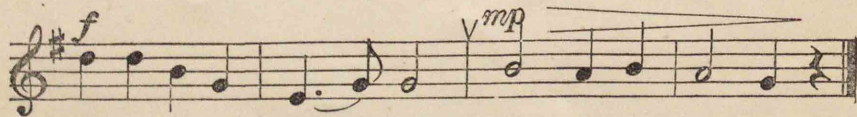
1 ノボル アサヒ ムネニア ビテ
 2 きよき あした おもておこし



イキホヒ ヨーク フミヨム マド
 いさみ いづる まなびの みち



ココロ カロク イザイザ ヒラケ
 こころ つよく いざいざ すすめ



ヒトヒノ コート アサニアリ
 ひじひの こーと あさにあり

朝の歌

一、のぼる朝日
 いきほひよく
 書よむ窓
 むねにあびて

こゝろかろく
 いざくひらけ
 あさにあり

二、清きあした
 おもておこし

いさみいづる
 學びの道

こゝろつよく
 いざくすゝめ
 あさにあり

北里 関

(三八) 臨時記號 (其の二)

(或ハ變化記號)

b 變 ^{フラット} (Flat)

クラス會

♩ = 108
mf

1 オ ナ ジ ク ラ ス ノ ケ フ ノ ツ ド ヒ コ
2 ひ と つ お も ひ の け ふ の つ き ひ こ

コ ロ ヘ グ テ ス ヨ ロ コ ビ ニ ミ チ テ タ
の ま な び や に じ も じ も に あ ひ て た

ノ シ タ ノ シ ワ レ ラ ノ サ チ ケ
の し た の し わ れ ら の さ ち け

フ ナ ウ タ ハ ン タ カ ラ カ ニ イ ザ ヤ
ふ を す こ さ ん む つ ま じ く い ざ や

(三九) 轉 調

Sol La ^bSi La ...ハ長調
v re mi fa mi ...ハ長調

クラス會

一、 同じクラスの
こゝろへだてぬ
楽し樂し
けふをうたはん

二、 ひとつ思ひの
このまなびやに
たのしたのし
けふをすごさん

けふのつどひ
喜びにみちて
われらのさち
高らかにいざや

けふのつどひ
ともどもにあひて
われらの幸
むつまじくいざや

松 岸 寛 一

(四〇) ∧調長音階圖解

Do'	Fa' 六
Si	Mi' ホ
La	Re' 三
Sol	Do' 六
♭Fa	Si 口
Mi	La 一
Re	Sol 卜
Do	Fa へ
Si,	Mi ホ
La,	Re 二
Sol,	Do 八

∧長調

ハ長調

(四一) ∧調長音階說明

(四二) 調子記號 (∧長調)

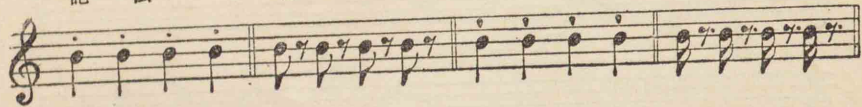
(四三) ∧長調讀譜練習

(四四) 圓點、垂點

スタツカード (Staccato)

スタツカチイツスイモ (Staccatissimo)

記法 奏法 記法 奏法



豊年

Broom.

♩ = 120 *mf* 調

ソ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ
1 サ ヤー ニー ミ フ ケ ル ドレ ソ ソ ハ カ ゼ
2 つ きー にー ふ く る よ の し じ ま

p
ソ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ
ミ ズー ホー ミ ユ レ テ ネ ソ ナ ト
ひ けー るー う す は ね に な る

レ ク ロ ニ ミ タ テ ル カ カ シ ミ サ ヘ モ
も み の に ほ ひ よ ね の に ほ ひ

mf
ソ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ ソラ
ト シー チー フー ミ ホ ゲ ル ス ガ タ ト
み よー やー あ き の ゆ た け ヨ さ

pp

レ ソ ソ ミ ド ド し ソ ソ ミ ド ド
ウ ラ ラ ビ ヲ ヲ ツ ツ ツ ミ ド
や ま じ つ め る の き の た は ら

ソ ソラ ソラ ミ ド ト し ソ ソ ト
イ ザー ヤー ミ ツ ド ヒ ウ タ ハ ト
こ も ー に ー み あ げ う た は ム

豊年

一、
さやに吹ける
瑞穂ゆれて
畔に立てる
年をほげる
麗日と和
いざやつどひ
月にふくる
挽ける白は
穀のほひ
見よや秋の
山と積める
ともに見上げ

二、
今中風溪
稻の葉風
音に鳴る
案山子さへも
姿よ
つゞく庭に
歌はむ
夜のしじま
音に鳴る
米のほひ
ゆたけさ
軒の俵
歌はむ

親友

♩ = 116
mp

1 ムネニア マルカ ナシ ミモ
2 うれしき マルキ ヲヨラ クト
3 ワガヨノ ナミ アラクト

カタルトモ ノアリテ コソ
ジモにわか つ ビもーあ りて
カカルトモ ノアリテ コソ

ココロヒ ラケ アス ノヒ ノ
わざには げむ あけく れの
チカラハ マ タム ネ ニ ワ キ

マ タ タ ノ シ ク ア ル ベ ケ レ
う ら た の し く あ る ベ け れ
イ サ ミ タ チ テ ス ス ム ナ リ

親友

一、 胸にあまる
語る友の
心ひらけ
また楽しく
うれしきとき
二、 ともにわか
業にはげむ
うらたのしく
わが世の波
かゝる友の
力はまた
いさみたちて

かなしみも
ありてこそ
明日の日の
あるべけれ
よろこびを
友ありて
あけくれの
あるべけれ
あらくとも
ありてこそ
胸にわき
進むなり

(四五) ニ調長音階圖解

ニ Re'	Sol	Do'
ハ Do'	Fa	#Si
マ Si	Mi	La
イ La	Re	Sol
ト Sol	Do	Fa
ヘ Fa	#Si	#Mi
ホ Mi	La	Re
ニ Re	Sol	Do
ハ Do	Fa	(#)Si
マ Si	Mi	
イ La	Re	
ト Sol	Do	

ハ長調

ト長調

ニ長調

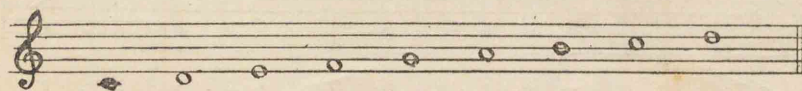
(四六) ニ調長音階説明



ニ調長音階

(四七) 問題

一. 次の音列をニ長調として必要なる個所に臨時記號を附せよ。



二. 次の樂譜に於ける臨時記號は曲に如何なる變化を與へるか。



(四八) ニ長調讀譜練習 (並ニ音名記入)



尊 き 國

獨 逸 民 謠



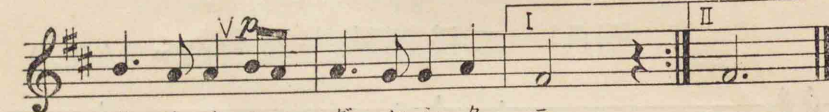
1 ア マ ツ カ ミ サ ダ メ シ スー メ ラ ミ ク
2 さ し の ほ る あ さ ひ の た ー だ さ す く



ニ ク ニ ツ カ ミ カ タ メ シ ヤー マ ト シ マ
に あ か ね さ す ゆ ふ ひ の ひ ー て ー る く



ネ {ウチワタスセカイニフタツナクミ
アメツチトユルガズトコトハニサ
に {うちわたすせかいにふたつなくみ
{あめつちじゆるがすじこごはにさ



ツ ナ ク スー グ レ シ ク ニ
カ ユ ク タ フ ト キ ク ----- ニ
つ な く すー ぐ れ し く に
か ゆ く た ふ じ ー き く ----- に



尊 き 國

一、

天つ神 さいだめし 皇御國すうらみくに
國つ神 かためし 倭島根やまとしまね

八

波

則

吉

二、

さしのぼる朝日の 直射す國たゞさき
あかねさす夕日の 日照る國てる

あめつちと 揺がず 永遠とこひはに榮さか行く尊すんき國
うちわたす 世界に 二つなく三つなく勝すぐれし國

あめつちと 揺がず 永遠とこひはに榮さか行く尊すんき國
うちわたす 世界に 二つなく三つなく勝すぐれし國

八分の六拍子豫備練習、母の恵

(四九) 八分の六拍子豫備練習

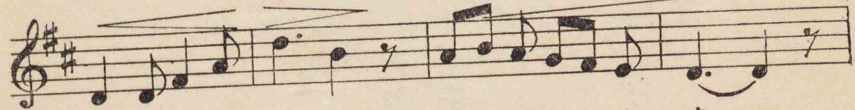


母の恵

Davidson.



1 アサナユフナ カーハリーナク
2 あいにもゆる そのこころ



ナガキツキヒ ターユミーナク
なさけふかき そのめぐみ

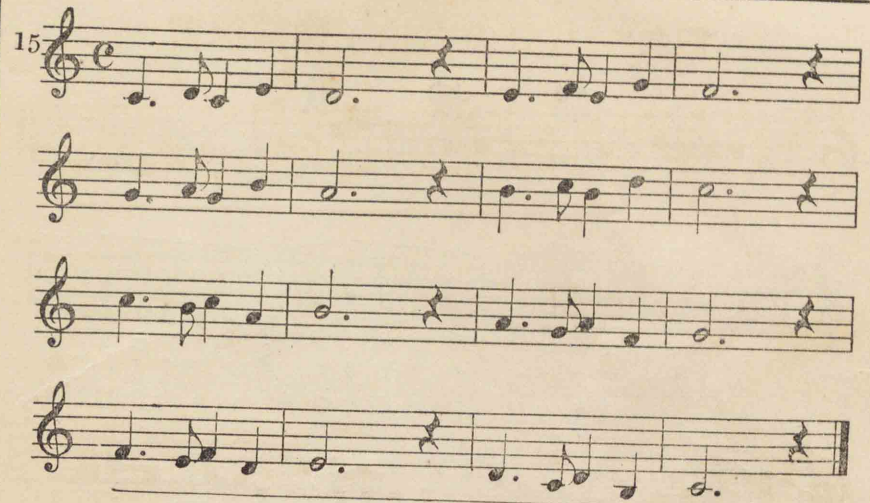


オモヒヲツクス ハハソーバノ
けふあるわれの さちおほき



ゲニヤタフト トーコシーヘニ
げにやたふ ははのおん

五八



母の恵

母の恵

松岸寛

一、朝な夕な かはりなく
長き月日 たゆみなく

おもひをつくす は、そばの
げにやたふと とこしへに

二、愛にもゆる そのこころ
なさけふかき そのめぐみ

今日あるわれの さち多き
げにや尊と 母の恩

五九

應援歌

Work.

mf $\text{♩} = 96$

1 井 フーダウダウ チヲハラヒ ガンクワケイケイ
2 さいこのしょうりは やがてその さいこのよりよくの

レドレミレ ドドレミマ チナホ ヤミガタキ
のちにある ほかうのめいよを そうけんに

f

レレレシミレ ドド ソレフ レート
になへる わが せーんしゆ ふれふれご

f

ドワガトモ トレトレ イウーショウキ
もわがごも じれ じれ い うーしょうき

ドドレミレ ソラソラ ヤミガタキ スグレシワガ センシユ
ほかうのめいよを そうけんに になへる わが せんしゆ

16

一、 威風堂々地を拂ひ 眼光炯々天を衝く
斃れて後尙已み難き 勝れし我選手 友！我友！

二、 最後の勝利はやがてその 最後の努力の後にあり
母校の名譽を双肩に 擔へる我選手 友！我友！

斃れて後尙やみ難き 勝れし我選手 友！我友！

母校の名譽を双肩に 擔へる我選手 友！我友！

大 童 球 溪



鎌倉山

♩ = 60

p *mf* *mp*

ドドドミソ シドミレ
 1 ケンムノーチ セイホドモナ クー
 2 なんぶうき そふ をりもな くー

レレレミソレ レシドミソ
 ヘイアンノ ソラ クモミダレー
 えいこんご はに ねむれーごもー

ソソソミソミソ ミレミソミソレ
 ツキセヌウラミ イマモナーホー
 ひふんのなみだ きえやーらでー

ミミミレドマ カゼサムシド
 かまくーらやま っゆしーげしー

鎌倉山

一、
 建武の治世
 平安の空
 つきせぬ恨

鎌倉山

二、
 南風競ふ
 英魂とはに
 悲憤の涙

鎌倉山

程もなく
 雲みだれ
 今もなほ
 風寒し

をりもなく
 眠れども
 消えやらで
 露しげし

松岸寛一

TWINKLE, TWINKLE, LITTLE STAR.

Folkssong.

Moderato



1. Twin - kle twin - kle, lit - tle - star;
2. When the blaz - ing sun is gone,



How I won - der what you are,
When he noth - ing shines up - on,



Up a - bove the world so high,
Then you show your lit - tle light,



Like a dia - mond in the sky!
Twin - kle, twin - kle all the night



Twin - kle. twin - kle lit - tle star,

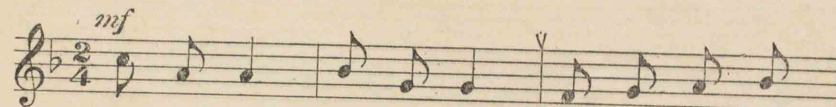


How I won - der what you are!

LIGHTLY ROW.

Spanish Melody.

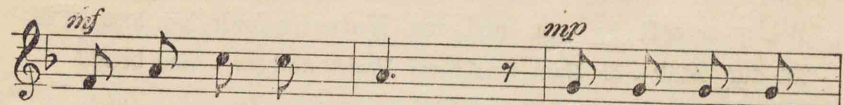
Allegretto



1. Lightly row! Lightly row! O'er the glas - sy
2. Far a - way! Far a - way! Ech - o in the



waves we go; Smoothly glide! Smoothly glide!
rock at play, Calleth not, Calleth not,



On the silent tide. Let the winds and
To this lonely spot. On - ly with the



waters be Mingled with our mel - o - dy;
sea bird's note, Shall our dying mu - sic float!



Sing and float! Sing and float! In our lit - tle boat.
Lightly row! Lightly row! Ech - o's voice is low.

LABOR SONG.

L. C. Emerson.



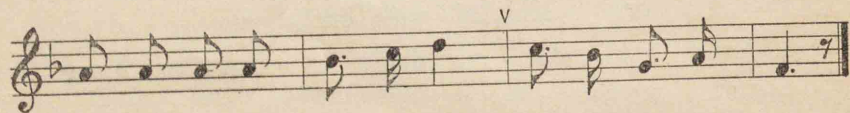
1. Sing-ing bird and bu-sy bee, Throng the air eve-ry - where,
2. Sing-ing bird and bu-sy bee, As they soar ev - er - more,
3. Sing-ing bird and bu-sy bee, On the wing, work and sing,



Cull - ing sweets from flower and tree, Ev - er free and fair.
 Whisp-er soft to you and me, Nature's fault-less lore } Cho.
 To our Mak - er thus would we Praise and ser - vice bring.



Hark in soft-est tones I hear, gen-tle voi - ces say,



Song and la - bor bring us cheer, All the live - long day.

GOD SAVE THE KING

(英國國歌)



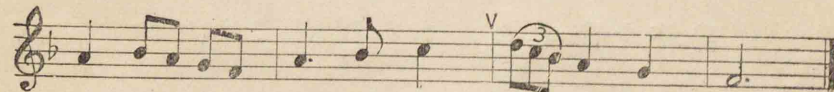
1. God save our gra - cious king, Long live our
2. O Lord, our God, a - rise, Scat - ter his
3. Thy choic-est gifts in store, On him be



no - ble king, God save the king,
 en - e - mies, And make them fall;
 pleased to pour, Long may he reign;



Send him vic - to - ri - ous, Hap-py and glo-ri - ous,
 Con-found their pol-i - tics, Frustrate their knav-ish tricks,
 May he de - fend our laws, And ev - er give us cause



Long to reign o - ver us, God save the king.
 On him our hopes we fix; God save us all,
 To sing with heart and voice, God save the king.

本學年に得た樂典の總括

第一章 音樂・音名・階名

(第一頁參照)

第二章 音符

(第二頁參照)

第三章 休止符

(第三頁參照)

第四章 譜表加線音部記號

- 一. 記された音符の位置によつて音の高低を知るに用ふるものを譜表といふ。(四頁參照)
- 二. 譜表は并五線及び其の間を下より上に數へると第一線第一間・第二線第二間・第三線第三間・第四線第四間・第五線第五間といふ事になる。即ち五つの線と四つの間とになる。其線と間とに音符を記すのだから譜表には九つの位置を有する事になる。
- 三. 譜表の外に尙音符の位置が必要な時には臨時に加線といふ短線を記して其の位置を増設する。(四頁參照)

四. 増設した位置の名稱は譜表を中心として其の上のものは下方より上方に數へて上一間上一線・上二間上二線といひ下のものは上方より下方に數へて下一間下一線・下二間下二線等といふ。但し上一間下一間には加線の必要がない。(四頁參照)

五. 譜表の首端に記す記號を音部記號といふ。

六. 音部記號に高音部低音部の二種がある。(五頁參照)

[附言] 此の外に中音部記號あれども説明を略す。

七. 高音部記號の記された譜表を高音部譜表といひ低音部記號の記された譜表を低音部譜表といふ。(五頁參照)

八. 高音部記號は別名ト音記號といふ。而して此の記號は第二線を基點として記すのであるから高音部譜表の第二線はト音である。(五頁參照)

九. 低音部記號は別名ヘ音記號といふ。而して此の記號は第四線を基點として記すのであるから低音部譜表の第四線はヘ音である。(五頁參照)

一〇. 高音部譜表の第二線はト音であり低音部

譜表の第四線はへ音であるから、其の他の音名も、おのづから分るのである。(五頁参照)

一一、大譜表 (六頁参照)

第五章 拍子

一二、二拍子 = $\frac{2}{2}$ (又は ϕ), $\frac{2}{4}$ 四拍子 = $\frac{4}{4}$ (又は ϕ), $\frac{4}{8}$

三拍子 = $\frac{3}{4}$, $\frac{3}{8}$, $\frac{3}{2}$ 六拍子 = $\frac{6}{8}$, $\frac{6}{4}$ (七頁参照)

一三、正格小節 = 強部より起る。

變格小節 = 弱部より起る。

(一四頁参照)

第六章 音階・轉調

一四、音階に長音階・短音階の二種がある。

長音階は第三音と第四音・第七音と第八音との間に半音を有するもの。(一〇頁参照)

短音階の説明は之れを略す。

一五、へ音をDoとした長音階をハ調長音階といふ。

一六、而して音階の第一音、即ちDoの音は、音階中最も主要な音だから、之れを主音と稱する。

一七、ト音をDoとして長音階を組み立てるのに、

ハ調長音階と同形でない個所(即ちへ音)がある。此の音に嬰記號をつけて半音上げる時は、ハ調長音階と同じ形になる。

其の嬰記號を音部記號の次位第五線に記してト調の調子記號(單に調號ともいふ)とする。

(三三頁参照)

一八、ニ音をDoとする場合は前と同じ意味でへ音へ音に嬰記號を附けるとハ調長音階と同形になる。其の嬰記號を音部記號の次位第五線と第三間とに記してニ長調の調子記號とする。

(五三頁参照)

一九、へ音をDoとして長音階を組み立てるのには、ハ調長音階と同形でない個所(即ち口音)がある。此の音に變記號を附けて半音下ぐれば、ハ調長音階と同形になる。其の變記號を音部記號の次位第三線におきて、へ長調の調子記號とする。(四三頁参照)

二〇、樂曲の中途に臨時記號を用ひて、臨時に他の調に轉ずる事がある。之れを轉調といふ。

(三〇頁・三一頁・四〇頁・四一頁・五〇頁・五三頁参照)

第七章 音程

二一. 音程とは或二音間の距離をいひ.此の二音間に含む全音半音の多少によつて種々の名稱を付ける。但し同音たとへば Do-Do. Re-Re の如きものも音程とし之れを**完全一度**といふ。本書で學んだ音程は

二度音程 { 長二度=全音程(即ち一音) (一三頁参照)
 { 短二度=半音程(即ち半音)

三度音程 { 長三度=二全音 (二八頁参照)
 { 短三度=一全音半

第八章 臨時記號

二二. 樂曲の進行中臨時に聲音を半音上げ.或は下げ.又はこの上下せる音符を元の位置に戻すために用ひる記號を**臨時記號** (或は變化記號) といひ之れに三種ある。

嬰 (シャープ)半音上げる。(三〇頁参照)

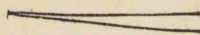
b 變 (フラット)半音下げる。(四〇頁参照)

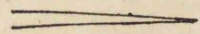
♮ 本位記號(ナチュラル)元の音に戻す。
(三〇頁参照)

二三. 臨時記號の効力は一小節内の同音にのみ及ぶものとする。

第九章 發想標語並に發想記號

二四. 樂曲の趣味を助けて感動の度を一層深からしめるためになすべき事を示す標語又は記號を**發想標語**又は**發想記號**といふ。

 Crescendo. 漸次強く

 Decrescendo. 漸次弱く

又は Diminuendo (九頁参照)

ff (Fortissimo) 最も強く

f (Forte) 強く

mf (Mezzo Forte) 中庸の強さに
(一九頁参照)

mp (Mezzo piano) 中庸の弱さに


p (Piano) 弱く

pp (Pianissimo) 最も弱く
(二一頁参照)

> ^ v (Accent) 特に強く

(二六頁参照)

第十章 雜記號

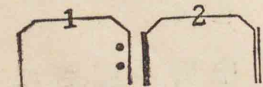

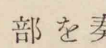
二五.  **結合線** (Tie) は同音に附せられた場合で.兩音符の時間音聲を持続する。(一一頁参照)

二六. — 連結線(Slur)は異音に附せられた場合
で兩音符を圓滑に奏する事を示す(一九頁參照)

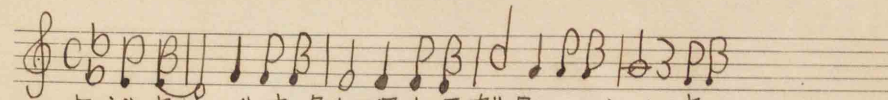
二七. () 延長記號(Pause)は音符又は休止符固
有の時間を其の場合により適宜に延長する。
(一〇頁參照)

二八. ● (Staccato) 音符固有の時間より短く。
●● (Staccatissimo) 一層短く切る。(四四頁參照)

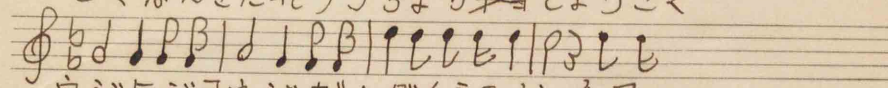
二九. ||: :|| 反復記號(三一頁參照)

三〇.  省略記號 大體に於て同
じであるが終りの小部分だけ異なる場合始め
は  の部を奏し二回目は  の部を奏
する。(三一頁參照)

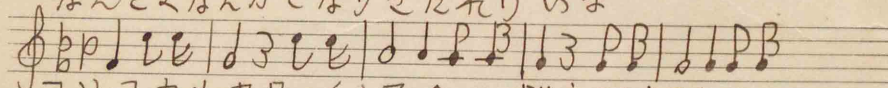
非常時日本の歌



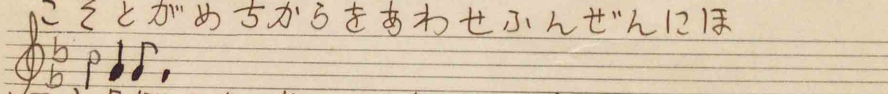
ヒジヤウジキタレワレウカクニヒジヤ
こくなんきたれりうちよりとよりこく



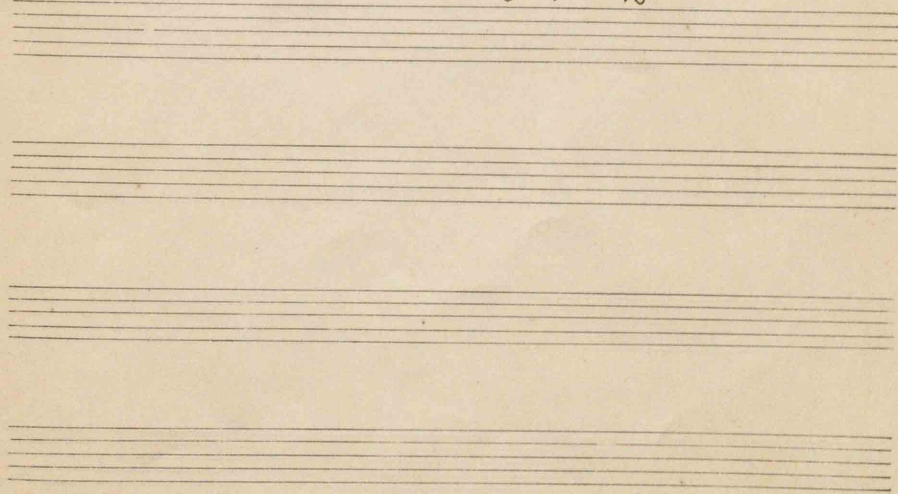
ウジヒジヨウジセウダイミモノイマ
なんこくなんかさなりきたれりいま



コソユカメセウイマヘニウウウレ
こそとかめちからをあわせふんぜんには



ウ) タタシキミタヲニホシノミタヲ
んのいのちのつぎこののやいは



軍艦

一

守るも攻むるもくろがねり
浮べる城をたのみなる
浮べる其の城曰の本の
皇口の四方を守るべし
まかねのその小ね曰の本に
仇なす口を攻めよかし

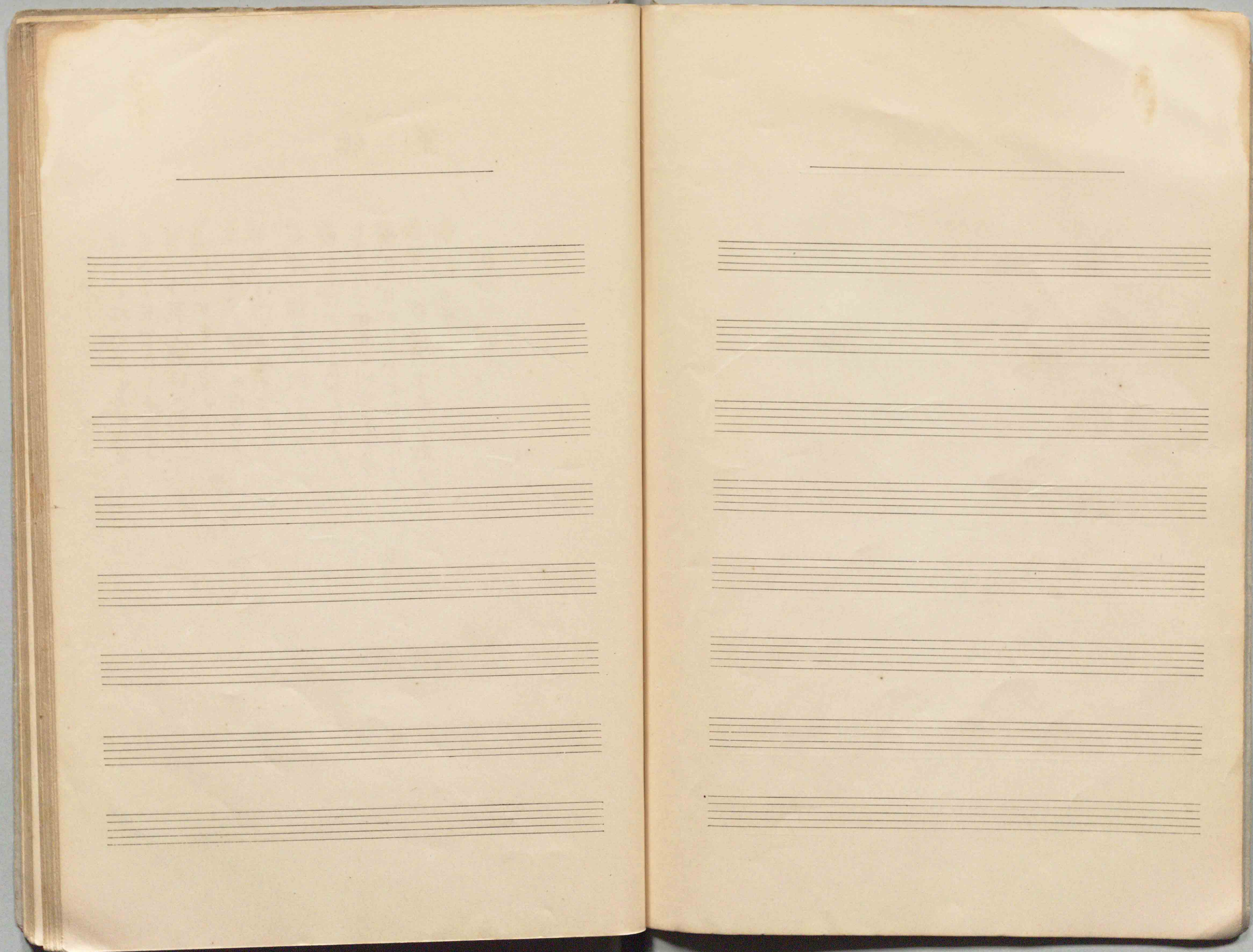
二

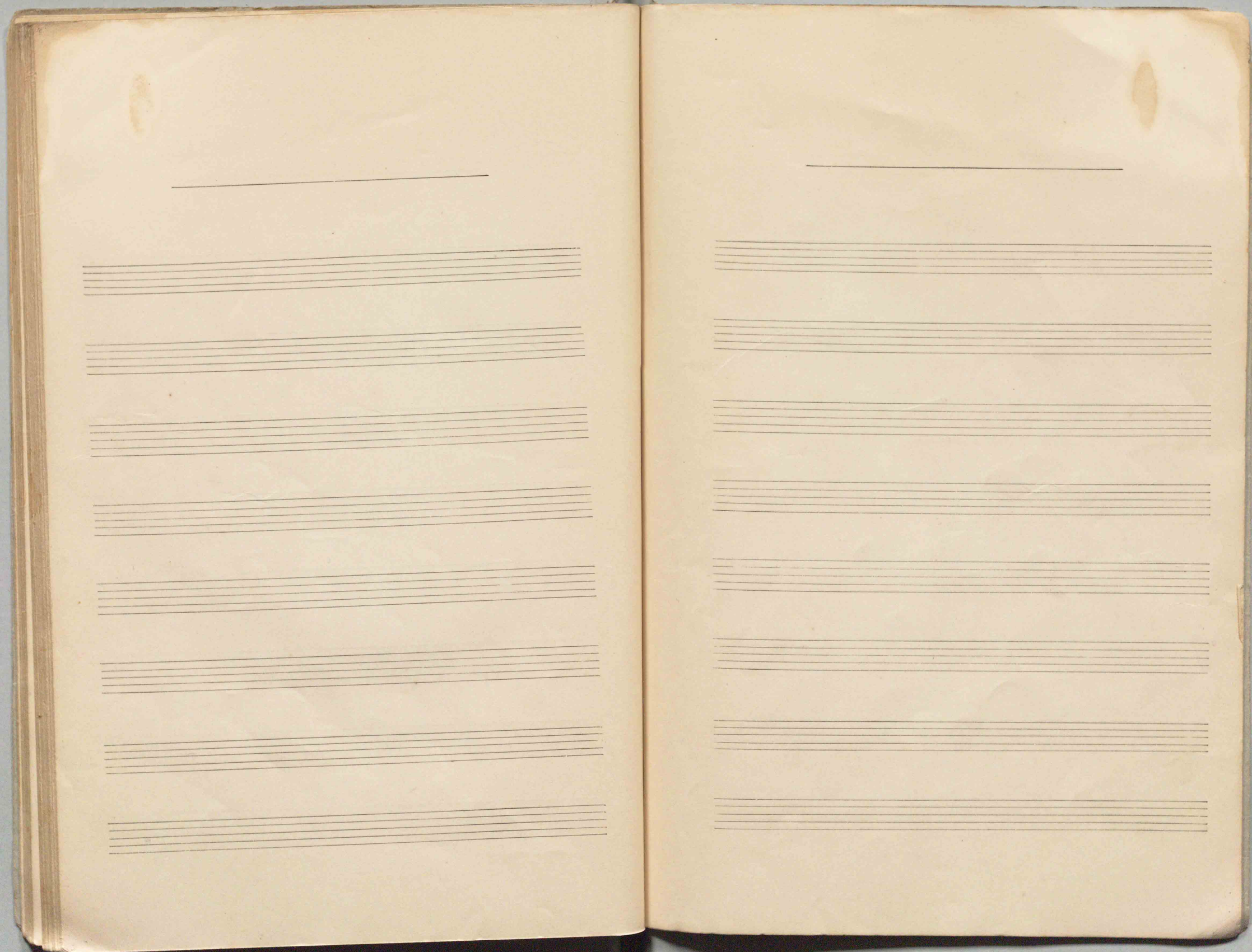
石炭の煙はわたつみの
龍かとはかりなびくたり
たま打つ響音はいかずちの
聲かとはかりとよむなり
萬里の波濤を乗り越えて
御口の光

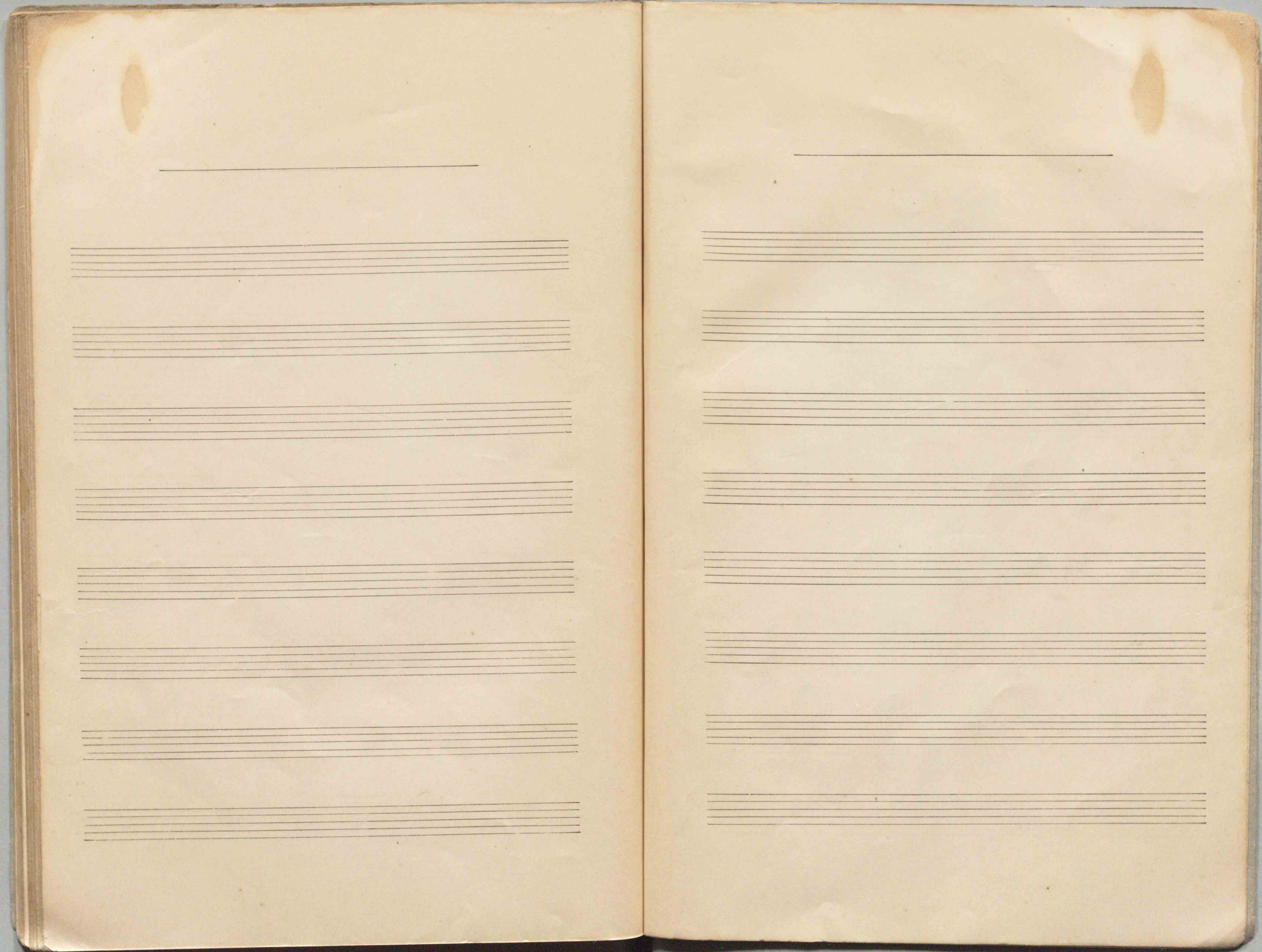
かかやかせ。

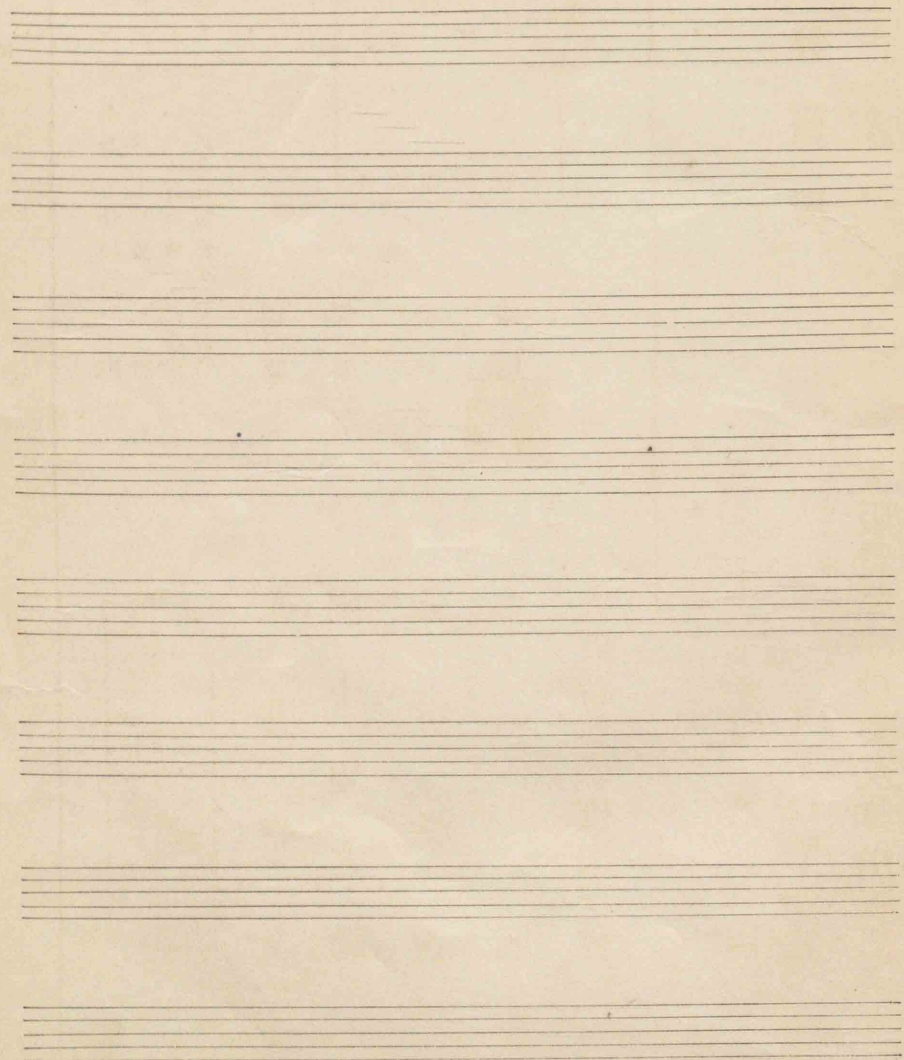
三

5 5 3 5 6









昭和六年二月一日印刷
 昭和六年十二月十五日修正再版印刷
 昭和六年十二月廿五日修正再版發行



不許複製拔萃

昭和中等音樂教科書卷之一
 定價 金四十錢

編纂者 永井幸次

編纂者 田中銀之助

發行者 永井幸次

印刷者 多野明

發行所 大阪音樂學校樂友會

大阪市東區北久寶寺町四丁目

三木樂器店

大阪市東區味原町九九

大阪音樂學校樂友會出版部

電話(船場)八〇六番
 電話(南)五五三番
 振替口座大阪六五二一四番

1920.8.10

朝倉利男

No. 1 Asakura



第一學年A組一番
朝倉利男

広島大学図書

0130449430

